

表37. 当事者に影響をおよぼした環境等に関する要因

発生要因		Yes/No	全事例 (%)	自己抜去 (%)	χ^2	p
システム	連絡・報告システムの不備	Y	629 (0.8)	3 (0.1)	36.07	< 0.000 **
		N	75,414 (99.2)	5,164 (99.9)		
	指示伝達システムの不備	Y	815 (1.1)	1 (0.0)	52.82	< 0.000 **
		N	75,228 (98.9)	5,166 (100)		
コンピュータシステムの不備	Y	152 (0.2)	0 (0)	9.31	0.002 **	
	N	75,891 (99.8)	5,167 (100)			
作業マニュアルの不備	Y	580 (0.8)	3 (0.1)	32.73	< 0.000 **	
	N	75,463 (99.2)	5,164 (99.9)			
連携	医師と看護婦の連携不適切	Y	2,121 (2.8)	56 (1.1)	53.29	< 0.000 **
		N	73,922 (97.2)	5,111 (98.9)		
	医師と技術職の連携不適切	Y	131 (0.2)	0 (0)	7.88	0.005 **
		N	75,912 (99.8)	5,167 (100)		
	医師と事務職の連携不適切	Y	46 (0.1)	0 (0)	2.15	0.142 n.s.
		N	75,997 (99.9)	5,167 (100)		
	医師間の連携不適切	Y	272 (0.4)	1 (0.0)	15.54	< 0.000 **
		N	75,771 (99.6)	5,166 (100)		
	看護職間の連携不適切	Y	4,776 (6.3)	216 (4.2)	36.63	< 0.000 **
		N	71,267 (93.7)	4,951 (95.8)		
	技術職間の連携不適切	Y	179 (0.2)	0 (0)	11.14	0.001 **
		N	75,864 (99.8)	5,167 (100)		
多職種間の連携不適切	Y	507 (0.7)	4 (0.1)	25.94	< 0.000 **	
	N	75,536 (99.3)	5,163 (99.9)			
記録等の記載	字が汚かった	Y	77 (0.1)	0 (0)	4.23	0.039 n.s.
		N	75,966 (99.9)	5,167 (100)		
	小さくて読みにくかった	Y	111 (0.1)	0 (0)	6.52	0.010 *
		N	75,932 (99.9)	5,167 (100)		
	記載の形式が統一されてなかった	Y	138 (0.2)	0 (0)	8.35	0.003 **
		N	75,905 (99.8)	5,167 (100)		
	記載方法がわかりにくかった	Y	422 (0.6)	0 (0)	27.76	< 0.000 **
		N	75,621 (99.4)	5,167 (100)		
	記載漏れ	Y	436 (0.6)	1 (0.0)	26.72	< 0.000 **
		N	75,607 (99.4)	5,166 (100)		
患者の外見	患者の外見(容貌・年齢)、姓名の類似	Y	361 (0.5)	0 (0)	23.58	< 0.000 **
		N	75,682 (99.5)	5,167 (100)		
勤務状況	多忙であった	Y	6,963 (9.2)	515 (10.0)	3.70	0.054 n.s.
		N	69,080 (90.8)	4,652 (90.0)		
	勤務の管理に不備	Y	156 (0.2)	7 (0.1)	0.85	0.356 n.s.
		N	75,887 (99.8)	5,160 (99.9)		
	作業が中断した	Y	653 (0.9)	18 (0.3)	14.76	< 0.000 **
		N	75,390 (99.1)	5,149 (99.7)		
	当直だった	Y	244 (0.3)	2 (0.0)	11.84	< 0.000 **
		N	75,799 (99.7)	5,165 (100)		
	当直明けだった	Y	86 (0.1)	1 (0.0)	3.15	0.076 n.s.
		N	75,957 (99.9)	5,166 (100)		
	夜勤だった	Y	4,620 (6.1)	567 (11.0)	193.30	< 0.000 **
		N	71,423 (93.9)	4,600 (89.0)		
夜勤明けだった	Y	317 (0.4)	25 (0.5)	0.37	0.542 n.s.	
	N	75,726 (99.6)	5,142 (99.5)			
環境	緊急時だった	Y	119 (0.2)	10 (0.2)	0.22	0.640 n.s.
		N	75,924 (99.8)	5,157 (99.8)		
	コンピュータシステムがダウンしていた	Y	16 (0.0)	1 (0.0)	0.00	1.000 n.s.
		N	76,027 (100)	5,166 (100)		
	照明が暗かった	Y	317 (0.4)	22 (0.4)	0.00	1.000 n.s.
		N	75,726 (99.6)	5,145 (99.6)		
	床が濡れていた	Y	105 (0.1)	0 (0)	6.11	0.013 *
		N	75,938 (99.9)	5,167 (100)		

* $p < 0.05$. ** $p < 0.01$. n.s.:not significant

表38. 医療用具(機器)・設備等に関する要因

発生要因		Yes/No	全事例 (%)	自己抜去 (%)	χ^2	p
医療用具(機器)・ 器具・医療材料	欠陥品・不良品だった	Y	98 (0.1)	1 (0.0)	3.91	0.048 *
		N	75,945 (99.9)	5,166 (100.0)		
	故障していた	Y	108 (0.1)	0 (0)	6.32	0.011 n.s.
		N	75,935 (99.9)	5,167 (100.0)		
	複数の規格が存在した	Y	50 (0.1)	0 (0)	2.41	0.120 n.s.
		N	75,993 (99.9)	5,167 (100.0)		
	扱いにくかった	Y	64 (0.1)	2 (0.0)	0.73	0.391 n.s.
		N	75,979 (99.9)	5,165 (100.0)		
	配置が悪かった	Y	93 (0.1)	5 (0.1)	0.09	0.760 n.s.
		N	75,950 (99.9)	5,162 (99.9)		
数が不足していた	Y	18 (0.0)	0 (0)	0.39	0.533 n.s.	
	N	76,025 (100.0)	5,167 (100.0)			
管理が不十分だった	Y	584 (0.8)	21 (0.4)	8.07	0.004 *	
	N	75,459 (99.2)	5,146 (99.6)			
機器誤作動	Y	102 (0.1)	0 (0)	5.91	0.015 n.s.	
	N	75,941 (99.9)	5,167 (100.0)			
薬剤	薬剤を入れる容器が似ていた	Y	129 (0.2)	0 (0)	7.74	0.005 **
		N	75,914 (99.8)	5,167 (100.0)		
	薬剤の色や形態が似ていた	Y	149 (0.2)	0 (0)	9.10	0.002 **
		N	75,894 (99.8)	5,167 (100.0)		
	薬剤名が似ていた	Y	415 (0.5)	0 (0)	27.28	< 0.000 **
		N	75,628 (99.5)	5,167 (100.0)		
	複数の規格が存在した	Y	391 (0.5)	0 (0)	25.63	< 0.000 **
		N	75,652 (99.5)	5,167 (100.0)		
	配置が悪かった	Y	180 (0.2)	0 (0)	11.21	< 0.000 **
		N	75,863 (99.8)	5,167 (100.0)		
管理が悪かった	Y	412 (0.5)	2 (0.0)	23.16	< 0.000 **	
	N	75,631 (99.5)	5,165 (100.0)			
薬剤の性質上の問題	Y	76 (0.1)	0 (0)	4.16	0.041 *	
	N	75,967 (99.9)	5,167 (100.0)			
薬効が似ていた	Y	105 (0.1)	0 (0)	6.11	0.013 *	
	N	75,938 (99.9)	5,167 (100.0)			
薬剤の略語が似ていた	Y	11 (0.0)	0 (0)	0.06	0.804 n.s.	
	N	76,032 (100.0)	5,167 (100.0)			
諸物品	欠陥品・不良品だった	Y	26 (0.0)	0 (0)	0.86	0.353 n.s.
		N	76,017 (100.0)	5,167 (100.0)		
	故障していた	Y	19 (0.0)	0 (0)	0.44	0.505 n.s.
		N	76,024 (100.0)	5,167 (100.0)		
	複数の規格が存在した	Y	17 (0.0)	0 (0)	0.33	0.563 n.s.
		N	76,026 (100.0)	5,167 (100.0)		
	扱いにくかった	Y	34 (0.0)	2 (0.0)	0.00	1.000 n.s.
		N	76,009 (100.0)	5,165 (100.0)		
	配置が悪かった	Y	146 (0.2)	7 (0.1)	0.55	0.458 n.s.
		N	75,897 (99.8)	5,160 (99.9)		
数が不足していた	Y	18 (0.0)	2 (0.0)	0.04	0.834 n.s.	
	N	76,025 (100.0)	5,165 (100.0)			
管理が不十分だった	Y	238 (0.3)	17 (0.3)	0.01	0.943 n.s.	
	N	75,805 (99.7)	5,150 (99.7)			
施設・設備	電気系統の保守管理が不十分	Y	37 (0.1)	1 (0.0)	0.37	0.541 n.s.
		N	76,006 (100.0)	5,166 (100.0)		
	空調の保守管理が不十分	Y	11 (0.0)	1 (0.0)	0.00	1.000 n.s.
		N	76,032 (100.0)	5,166 (100.0)		
	衛生設備の保守管理が不十分	Y	9 (0.0)	0 (0)	0.01	0.920 n.s.
		N	76,034 (100.0)	5,167 (100.0)		
	通信設備の保守管理が不十分	Y	9 (0.0)	0 (0)	0.01	0.920 n.s.
		N	76,034 (100.0)	5,167 (100.0)		
	昇降設備の保守管理が不十分	Y	5 (0.0)	0 (0)	0.00	1.000 n.s.
		N	76,038 (100.0)	5,167 (100.0)		
施設構造物に関する問題があった	Y	126 (0.2)	5(0.1)(0)	1.03	0.309 n.s.	
	N	75,917 (99.8)	5,162 (99.9)			

* p < 0.05. ** p < 0.01. n.s.: not significant

付録1.「全般コード化情報」コード表

A 《発生日》

01	1月	07	7月
02	2月	08	8月
03	3月	09	9月
04	4月	10	10月
05	5月	11	11月
06	6月	12	12月
		90	月不明

B 《発生日》

B-1 発生日

01	月曜日	05	金曜日
02	火曜日	06	土曜日
03	水曜日	07	日曜日
04	木曜日	90	不明

B-2 曜日区分

01	平日
02	休日(祝祭日を含む)
90	不明

C 《発生日帯》

01	0時～1時台	08	14時～15時台
02	2時～3時台	09	16時～17時台
03	4時～5時台	10	18時～19時台
04	6時～7時台	11	20時～21時台
05	8時～9時台	12	22時～23時台
06	10～11時台	90	不明
07	12時～13時台		

D 《発生日所》

0101	外来診察室
0102	外来待合室
0199	外来のその他の場所
0200	救急処置室
0301	ナースステーション
0302	病室
0303	処置室
0304	浴室
0399	病棟のその他の場所()
0400	手術室
0500	分娩室
0601	ICU
0602	CCU
0603	NICU
0699	その他の集中治療室()
0700	検査室
0800	機能訓練室
0900	IVR治療室
1000	放射線撮影室・検査室
1100	核医学検査室
1200	放射線治療室
1300	透析室
1400	薬局・輸血部
1500	栄養管理室・調理室
1600	トイレ
1700	廊下

1800	階段
9000	不明
9901	その他の場所(院内) ()
9902	その他の場所(院外) ()

E 《患者の性別》

01	男性	88	患者複数
02	女性	90	不明

F 《患者の年齢》

000	0歳	098	98歳
001	1歳	099	99歳
002	2歳	100	100歳
.	.	101	101歳
.	.	.	.
009	9歳	150	150歳
010	10歳	888	患者複数
011	11歳	900	不明

G 《患者の心身状態》(複数入力可)

0100	意識障害
0200	視覚障害
0300	聴覚障害
0400	構音障害
0500	精神障害
0600	痴呆・健忘
0700	上肢障害
0800	下肢障害
0900	歩行障害
1000	床上安静
1100	睡眠中
1200	せん妄状態
1300	薬剤の影響下
1400	麻酔中・麻酔前後
7700	障害なし
9000	不明
9900	その他 ()

H 《発見者》

01	当事者本人
02	同職種者
03	他職種者
04	患者本人
05	家族・付き添い
06	他患者
90	不明
99	その他 ()

I 《当事者の職種》(複数入力可)

01	医師
02	歯科医師
03	助産師
04	看護師

- 05 准看護師
- 06 看護助手
- 07 薬剤師
- 08 管理栄養士
- 09 栄養士
- 10 調理師・調理従事者
- 11 診療放射線技師
- 12 臨床検査技師
- 13 衛生検査技師
- 14 理学療法士(PT)
- 15 作業療法士(OT)
- 16 言語聴覚士(ST)
- 17 歯科衛生士
- 18 歯科技工士
- 19 視能訓練士
- 20 精神保健福祉士
- 21 臨床心理士
- 22 社会福祉士
- 23 介護福祉士
- 24 臨床工学技士
- 25 児童指導員・保育士
- 26 事務職員
- 90 不明
- 99 その他()

J 《当事者の職種経験年数》

J-1 年数

000	0年	011	11年
001	1年	.	.
002	2年	.	.
.	.	099	99年
.	.	100	100年
009	9年	888	当事者複数
010	10年	900	年数不明

J-2 月数

00	0ヶ月	07	7ヶ月
01	1ヶ月	08	8ヶ月
02	2ヶ月	09	9ヶ月
03	3ヶ月	10	10ヶ月
04	4ヶ月	11	11ヶ月
05	5ヶ月	88	当事者複数
06	6ヶ月	90	月数不明

K 《当事者の部署配属年数》

K-1 年数

000	0年	011	11年
001	1年	.	.
002	2年	099	99年
.	.	100	100年
009	9年	888	当事者複数
010	10年	900	年数不明

K-2 月数

00	0ヶ月	07	7ヶ月
01	1ヶ月	08	8ヶ月
02	2ヶ月	09	9ヶ月
03	3ヶ月	10	10ヶ月
04	4ヶ月	11	11ヶ月
05	5ヶ月	88	当事者複数
06	6ヶ月	90	月数不明

L 《ヒヤリ・ハットが発生した場面》

指示・情報伝達に関する項目

<オーダー・指示出し>

010100 オーダー・指示出し

<情報伝達過程>

020101 文書による指示受け
 020102 口頭による指示受け
 020199 その他の指示受け()
 020201 文書による申し送り
 020202 口頭による申し送り
 020299 その他の申し送り()
 029900 その他()

薬剤・輸血に関する項目

<与薬準備>

110100 与薬準備

<処方・与薬>

120101 皮下・筋肉注射
 120102 静脈注射
 120103 動脈注射
 120104 末梢静脈点滴
 120105 中心静脈注射
 120200 内服
 120300 外用
 120400 坐剤用
 120500 吸入
 120600 点鼻・点眼・点耳
 129900 その他()

<調剤・製剤管理等>

130100 内服薬調剤・管理
 130200 注射薬調剤・管理
 130300 血液製剤管理
 139900 その他()

(<与薬準備><処方・与薬>
 <調剤・製剤管理等>の項目を選択した場合
 次の<薬剤・製剤の種類>から
 当てはまる項目を入力する)

<薬剤・製剤の種類>

140100 血液製剤
 140200 麻薬
 140300 抗腫瘍剤
 140400 循環器用薬
 140500 抗糖尿病薬
 140600 抗不安剤
 140700 睡眠導入剤
 149900 その他の薬剤()

<輸血>

150100 輸血検査
 150200 放射線照射
 150300 輸血実施
 159900 その他()

治療・処置に関する項目

<p><手術></p> <p>210101 開頭 210102 開胸 210103 開心 210104 開腹 210105 四肢 210106 鏡視下手術 210199 その他の手術() 210200 術前準備 210300 術前処置 210400 術後処置 219900 その他の手術に関する場面()</p> <p><麻酔></p> <p>220100 局所麻酔 220200 脊椎・硬膜外麻酔 220300 吸入麻酔 220400 静脈麻酔 220500 吸入麻酔+静脈麻酔 229900 その他()</p> <p><出産・人工流産></p> <p>230100 経膈分娩 230200 帝王切開 230300 医学的人工流産 239900 その他()</p> <p><その他の治療></p> <p>240100 血液浄化療法 240200 IVR 240300 放射線治療 240400 ペインクリニック 240500 リハビリテーション 249900 その他()</p> <p><処置></p> <p>*一般的処置</p> <p>・チューブ類の挿入</p> <p>250101 中心静脈ライン 250102 末梢静脈ライン 250103 動脈ライン 250104 血液浄化用カテーテル 250105 栄養チューブ(NG・ED) 250106 尿道カテーテル 250199 その他() 250200 ドレーンに関する処置 250300 創傷処置</p> <p>*救急処置</p> <p>250400 気管挿管 250500 気管切開 250600 心臓マッサージ 259900 その他()</p> <p><診察></p> <p>260100 診察</p>

L 《ヒヤリ・ハットが発生した場面》

<p>医療用具(機器)、ドレーン・チューブ類の使用・管理に関する項目</p> <p><医療用具(機器)の使用・管理></p> <p>310100 人工呼吸器 310200 酸素療法機器 310300 麻酔器 310400 人工心肺 310500 除細動器 310600 IABP 310700 ペースメーカー 310800 輸液・輸注ポンプ 310900 血液浄化用機器 311000 インキュベーター 311100 内視鏡 311200 低圧持続吸引機 311300 心電図・血圧モニター 311400 パルスオキシメーター 319900 その他の医療用具(機器)の使用・管理に関する場面()</p> <p><ドレーン・チューブ類の使用・管理></p> <p>320100 中心静脈ライン 320200 末梢静脈ライン 320300 動脈ライン 320400 気管チューブ 320500 気管カニューレ 320600 栄養チューブ(NG・ED) 320700 尿道カテーテル 320800 胸腔ドレーン 320900 腹腔ドレーン 321000 脳室・脳槽ドレーン 321100 皮下持続吸引ドレーン 321200 硬膜外カテーテル 321300 血液浄化用カテーテル・回路 321400 三方活栓 329900 その他のドレーン・チューブ類の使用・管理に関する場面()</p> <p>検査に関する項目</p> <p><検査></p> <p>・検体採取</p> <p>410101 採血 410102 採尿 410103 採便 410104 採痰 410105 穿刺液 410199 その他の検体採取()</p> <p>・生理検査</p> <p>410201 超音波検査 410202 心電図検査 410203 トレッドミル検査 410204 マスター負荷心電図 410205 脳波検査 410206 筋電図検査 410207 肺機能検査 410299 その他の生理検査()</p>
--

・画像検査
 410301 一般撮影
 410302 ポータブル撮影
 410303 CT
 410304 MRI
 410305 血管カテーテル撮影
 410306 上部消化管撮影
 410307 下部消化管撮影
 410399 その他の画像検査()
 ・内視鏡検査
 410401 上部消化管
 410402 下部消化管
 410403 気管支鏡
 410499 その他の内視鏡検査()
 ・機能検査
 410501 耳鼻科検査
 410502 眼科検査
 410599 その他の機能検査()
 410600 検体検査
 410700 血糖検査(病棟での)
 410800 病理検査
 410900 核医学検査
 419900 その他の検査に関する場面()

療養上の場面に関する項目

<療養上の世話>

510100 気管内・口腔内吸引
 510200 体位交換
 510300 清拭
 510400 更衣介助
 510500 食事介助
 510600 入浴介助
 510700 排泄介助
 510800 ストーマケア
 510900 移動介助
 511000 搬送・移送
 511100 体温管理
 511200 患者周辺物品管理
 511300 配膳
 511400 患者観察
 519900 その他()

<給食・栄養>

520100 経口摂取
 520200 経管栄養
 529900 その他()

<その他の療養生活の場面>

530100 散歩中
 530200 外出・外泊中
 530300 着替え中
 530400 移動中
 539900 その他()

L 《ヒヤリ・ハットが発生した場面》

その他の場面に関する項目

<物品搬送>

610100 物品搬送

<放射線管理>

620100 放射線管理

<診療情報管理>

630101 医師記録
 630102 看護記録
 630199 その他の診療記録()
 630200 画像データ管理
 630300 検査データ管理
 630400 検診データ管理
 630500 検査・処置・与薬指示表
 639900 その他()

<患者・家族への説明>

640100 患者・家族への説明

<施設・設備>

650100 施設・設備

<その他>

990000 その他()

M 《ヒヤリ・ハットの内容》

<オーダー・指示出し、

情報伝達過程に関する項目>

010100 指示出し・指示受け・情報伝達忘れ
 010200 指示出し・情報伝達遅延
 010300 指示出し・情報伝達不十分
 010400 誤指示・情報伝達間違い
 019900 その他()

<診察、手術、麻酔、出産、

その他の治療、処置に関する項目>

020101 患者取り違え
 020102 部位取り違え
 020103 医療材料取り違え
 020199 その他の取り違え()
 020200 方法(手技)の誤り
 020300 未実施・忘れ
 020400 中止・延期
 020500 日程・時間の誤り
 020600 順番の誤り
 020700 不必要行為の実施
 020800 消毒・清潔操作の誤り
 020900 患者体位の誤り
 029900 診察・治療のその他のエラー()

<処方・与薬>

110100 処方量間違い
 110201 過剰与薬
 110202 過少与薬
 110300 与薬時間・日付間違い
 110400 重複与薬
 110500 禁忌薬剤の組合せ
 110601 投与速度速すぎ
 110602 投与速度遅すぎ
 110699 その他の投与速度のエラー()

110700 患者間違い
 110800 薬剤間違い
 110900 単位間違い
 111000 投与方法間違い
 111100 無投薬
 119900 処方・与薬のその他のエラー
 ()

<調剤・製剤管理等>
 120100 処方箋・注射箋監査間違い
 120201 秤量 間違い調剤
 120202 数量 間違い調剤
 120203 分包 間違い調剤
 120204 規格 間違い調剤
 120205 単位 間違い調剤
 120206 薬剤取り違い調剤
 120299 その他の調剤・製剤間違い()
 120301 説明文書の取り換え
 120302 交付患者間違い
 120303 薬剤・製剤の取り違い交付
 120304 期限切れ製剤の交付
 120305 ABO型不適合製剤の交付
 120306 その他の不適合製剤の交付()
 120399その他の交付エラー()

・薬剤・血液製剤管理
 120401 異物混入
 120402 細菌汚染
 120403 破損
 120404 混合間違い
 120499 その他の薬剤・血液製剤管理()
 120500 薬袋・ボトルの記載間違い
 120600 薬袋入れ間違い
 120700 薬剤紛失
 129900 調剤・製剤のその他のエラー()

<輸血>
 ・輸血検査
 130101 未実施
 130102 検体取り換え
 130103 クロスマッチ間違い
 130104 結果記入・入力間違い
 130199 輸血検査のその他のエラー()

・血液製剤への放射線照射
 130201 未実施・忘れ
 130202 過剰照射
 130300 患者取り違い輸血
 130400 製剤取り違い輸血
 139900 輸血のその他のエラー()

<医療用具(機器)の使用・管理>
 ・医療用具(機器)の誤操作
 140101 組立
 140102 条件設定間違い
 140103 設定忘れ・電源入れ忘れ
 140199 その他の誤操作()
 140200 医療用具(機器)の不適切使用
 140300 医療用具(機器)の誤作動
 140400 医療用具(機器)の故障
 140500 医療用具(機器)の修理ミス
 140600 医療用具(機器)の破損

140700 医療用具(機器)の点検管理ミス
 149900 その他()

<ドレーン・チューブ類の使用・管理>
 150100 点滴漏れ
 150200 自己抜去
 150300 自然抜去
 150400 接続はずれ
 150500 未接続
 150600 閉塞
 150700 破損・切断
 150800 接続間違い
 150900 三方活栓操作間違い
 151000 ルートクランプエラー
 151100 空気混入
 159900ドレーン・チューブ類の
 その他のエラー()

<検査>
 160100 患者取り換え
 160200 検査手技・判定技術の間違い
 160300 検体採取時のミス
 160400 検体取り換え
 160500 検体紛失
 160600 検体破損
 160700 検体のコンタミネーション
 160800 その他の検体管理・取扱い()
 160900 試薬管理
 161000 分析機器・器具管理
 161100 検査機器・器具準備
 161201 データ取り換え
 161202 データ紛失
 161299 その他のデータ管理のエラー()
 161300 計算・入力・転記
 161400 結果報告
 169900 その他検査のエラー()

<療養上の世話・療養生活の場面>
 170101 転倒
 170102 転落
 170103 衝突
 170201 誤嚥
 170202 誤飲
 170300 誤配膳
 170401 安静指示の不履行
 170402 禁食指示の不履行
 170499 その他指示の不履行()

・搬送・移送
 170501 取り換え
 170502 遅延
 170503 忘れ
 170504 搬送先間違い
 170599 その他搬送・移送のエラー()

・自己管理薬
 170601 飲み忘れ・注射忘れ
 170602 摂取・注入量間違い

170603 取り違い摂取
170699 その他の自己管理薬のエラー()
170700 無断外出・外泊
179900 その他の療養生活のエラー()

<給食・栄養>

180100 内容の間違い
180200 量の間違い
180300 中止の忘れ
180400 延食の忘れ
180500 異物混入
189900 その他給食・栄養のエラー()

<物品搬送>

190100 遅延
190200 忘れ
190300 搬送先間違い
190400 搬送中の破損
199900 その他の物品搬送のエラー()

<放射線管理>

200100 放射性物質の紛失
200200 放射線漏れ
209900 その他の放射線管理のエラー()

<診療情報管理>

210100 記録忘れ
210200 誤記録
210300 管理ミス
219900 その他の診療情報管理のエラー()

<患者・家族への説明>

220100 説明不十分
220200 説明間違い
229900 その他()

<施設・設備>

230100 施設構造物・設備の破損
230200 施設・設備の管理ミス
239900 その他の施設・設備のエラー

<その他>

990000 その他()

N 《ヒヤリ・ハットが発生した要因》
(複数入力可。ただし、医療用具(機器)・
器具・医療材料、薬剤、諸物品は除く。)
当事者に関する事

<確認>

010100 確認が不十分であった
019900 その他()

<観察>

020100 観察が不十分であった
029900 その他()

<判断>

030100 判断に誤りがあった
039900 その他()

<知識>

040100 知識が不足していた
040200 知識に誤りがあった
049900 その他()

<技術(手技)>

050100 技術(手技)が未熟だった
050200 技術(手技)を誤った
059900 その他()

<報告等>

060100 忘れた
060200 不十分であった
060300 間違いであった
060400 不適切であった
069900 その他()

<身体的状況>

070100 寝不足だった
070200 体調が不良だった
070300 眠くなる薬を飲んでた
079900 その他()

<心理的状況>

080100 慌てていた
080200 イライラしていた
080300 緊張していた
080400 他のことに気を取られていた
080500 思いこんでいた
080600 無意識だった
089900 その他()

当事者に影響を及ぼした環境等に関する事

<システム>

110100 連絡・報告システムの不備
110200 指示伝達システムの不備
110300 コンピュータシステムの不備
110400 作業マニュアルの不備
119900 その他()

<連携>

120100 医師と看護職の連携不適切
120200 医師と技術職の連携不適切
120300 医師と事務職の連携不適切
120400 医師間の連携不適切
120500 看護職間の連携不適切
120600 技術職間の連携不適切
120700 多職種間の連携不適切
129900 その他()

<記録等の記載>

130100 字が汚かった
130200 小さくて読みにくかった
130300 記載形式が統一されてなかった
130400 記載方法がわかりにくかった
130500 記載漏れ
139900 その他()

<患者の外見(容貌・年齢)・姓名の類似>

140100 患者の外見(容貌・年齢)・
姓名の類似

<勤務状況>

150100 多忙であった
150200 勤務の管理に不備
150300 作業が中断した
150400 当直だった
150500 当直明けだった
150600 夜勤だった
150700 夜勤明けだった
159900 その他()

<環境>

160100 災害時だった
160200 緊急時だった
160300 コンピュータのシステムダウン
160400 照明が暗かった
160500 床が濡れていた
169900 その他()

医療用具(機器)・薬剤・設備等に関すること

<医療用具(機器)・器具・医療材料>

210100 欠陥品・不良品だった
210200 故障していた
210300 複数の規格が存在した
210400 扱いにくかった
210500 配置が悪かった
210600 数が不足していた
210700 管理が不十分だった
210800 機器誤作動
219900 その他()

<薬剤>

220100 薬剤を入れる容器が似ていた
220200 薬剤の色や形態が似ていた
220300 薬剤名が似ていた
220400 複数の規格が存在した
220500 配置が悪かった
220600 管理が悪かった
220700 薬剤の性質上の問題
220800 薬効が似ていた
220900 薬剤の略号が似ていた
229900 その他()

<諸物品>

230100 欠陥品・不良品だった
230200 故障していた
230300 複数の規格が存在した
230400 扱いにくかった
230500 配置が悪かった
230600 数が不足していた
230700 管理が不十分だった
239900 その他()

<施設・設備>

・保守管理が不十分
240101 電気系統

240102 空調

240103 衛生設備
240104 通信設備
240105 昇降設備
240199 その他の保守管理に関する問題()
240200 施設構造物に関する問題
249900 その他の問題()

教育・訓練に関すること

<教育・訓練>

310100 教育・訓練が不十分だった
310200 マニュアルに不備があった
310300 カリキュラムに不備があった
319900 その他()

説明・対応に関すること

<患者・家族への説明>

410100 説明が不十分であった
410200 説明に誤りがあった
410300 患者・家族の理解が不十分であった
419900 その他()

<その他>

990000 その他()

○ 《間違いの実施の有無及び
《ヒヤリ・ハットの影響度》

間違いが実施前に発見された事例

0101 仮に実施されていても患者への影響は
小さかった(処置不要)と考える
0102 仮に実施されていた場合、
患者への影響は中等度
(処置が必要)と考える
0103 仮に実施されていた場合、身体への
影響は大きい(生命に影響する)
と考える
0200 間違いが実施されたが、
患者に影響がなかった事例
9000 不明
9900 その他

出典) 医療安全対策『医療安全ネットワーク事業
(ヒヤリ・ハット事例収集・分析)』通知資料
(別添2)「全般コード化情報」コード表、
厚生労働省ホームページ、2005年1月11日。
[http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/
i-anzen/1/torikumi/naiyou/hiyari/siryo/
2.html](http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/i-anzen/1/torikumi/naiyou/hiyari/siryo/2.html)